広　報　資　料
令和５年１月４日
交通局交通企画課

「令和４年中の交通事故死者数について」

○　令和４年中の交通事故死者数（２４時間以内）

２，６１０人（前年比－２６人、－１．０％）

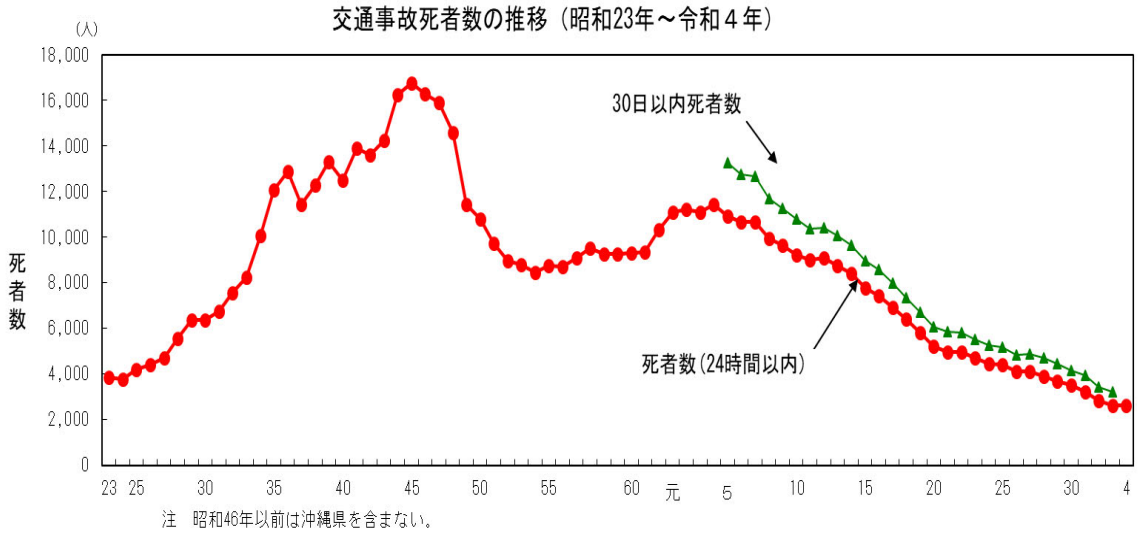
【添付資料】

１　交通事故発生状況の推移　……　１
２　月別交通事故死者数の推移　……　２
３　都道府県別交通事故死者数　……　３
４　高齢者（65歳以上）死者数の推移　……　４
５　死者３人以上の交通事故の発生状況　……　５
６　国家公安委員会委員長のコメント　……　６

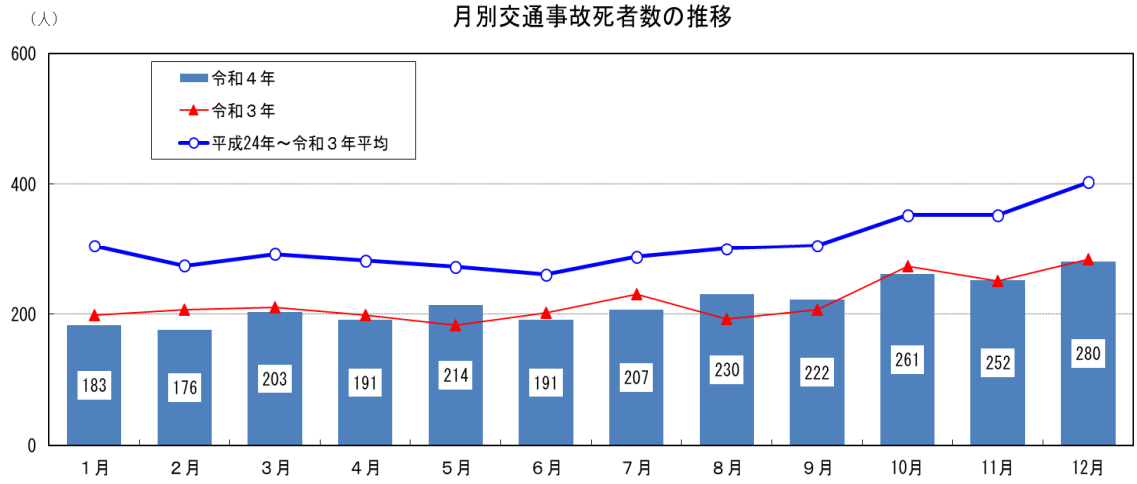
1　交通事故発生状況の推移

年	発生件数（件）	指数	負傷者数（人）	指数	死者数（人）	指数	人口10万人当たり死者数（人）	指数
昭和 23 年	21,341	…	17,609	…	3,848	23	4.93	30
24	25,113	…	20,242	…	3,790	23	4.74	29
25	33,212	…	25,450	…	4,202	25	5.14	31
26	41,423	…	31,274	…	4,429	26	5.32	33
27	58,487	…	43,321	…	4,696	28	5.55	34
28	80,019	…	59,280	…	5,544	33	6.46	40
29	93,869	…	72,390	…	6,374	38	7.32	45
30	93,981	…	76,501	…	6,379	38	7.22	44
31	122,691	…	102,072	…	6,751	40	7.56	46
32	146,833	…	124,530	…	7,575	45	8.39	51
33	168,799	…	145,432	…	8,248	49	9.05	55
34	201,292	…	175,951	…	10,079	60	10.95	67
35	449,917	…	289,156	29	12,055	72	12.97	79
36	493,693	…	308,697	31	12,865	77	13.77	84
37	479,825	…	313,813	32	11,445	68	12.14	74
38	531,966	…	359,089	37	12,301	73	12.92	79
39	557,183	…	401,117	41	13,318	79	13.85	85
40	567,286	…	425,666	43	12,484	74	12.85	79
41	425,944	59	517,775	53	13,904	83	14.15	87
42	521,481	73	655,377	67	13,618	81	13.75	84
43	635,056	88	828,071	84	14,256	85	14.22	87
44	720,880	100	967,000	99	16,257	97	16.03	98
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100	16.33	100
46	700,290	98	949,689	97	16,278	97	15.69	96
47	659,283	92	889,198	91	15,918	95	15.16	93
48	586,713	82	789,948	81	14,574	87	13.58	83
49	490,452	68	651,420	66	11,432	68	10.52	64
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64	9.81	60
51	471,041	66	613,957	63	9,734	58	8.70	53
52	460,649	64	593,211	60	8,945	53	7.91	48
53	464,037	65	594,116	61	8,783	52	7.69	47
54	471,573	66	596,282	61	8,466	50	7.35	45
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52	7.54	46
56	485,578	68	607,346	62	8,719	52	7.45	46
57	502,261	70	626,192	64	9,073	54	7.70	47
58	526,362	73	654,822	67	9,520	57	8.02	49
59	518,642	72	644,321	66	9,262	55	7.75	47
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55	7.70	47
61	579,190	81	712,330	73	9,317	56	7.70	47
62	590,723	82	722,179	74	9,347	56	7.68	47
63	614,481	86	752,845	77	10,344	62	8.46	52
平成 元 年	661,363	92	814,832	83	11,086	66	9.03	55
2	643,097	90	790,295	81	11,227	67	9.11	56
3	662,392	92	810,245	83	11,109	66	8.99	55
4	695,346	97	844,003	86	11,452	68	9.23	57
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65	8.79	54
6	729,461	102	881,723	90	10,653	64	8.54	52
7	761,794	106	922,677	94	10,684	64	8.54	52
8	771,085	107	942,204	96	9,943	59	7.92	48
9	780,401	109	958,925	98	9,642	58	7.66	47
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55	7.30	45
11	850,371	118	1,050,399	107	9,012	54	7.12	44
12	931,950	130	1,155,707	118	9,073	54	7.16	44
13	947,253	132	1,181,039	120	8,757	52	6.90	42
14	936,950	130	1,168,029	119	8,396	50	6.60	40
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46	6.10	37
16	952,720	133	1,183,617	121	7,436	44	5.83	36
17	934,346	130	1,157,113	118	6,937	41	5.43	33
18	887,267	124	1,098,564	112	6,415	38	5.02	31
19	832,704	116	1,034,652	105	5,796	35	4.54	28
20	766,394	107	945,703	96	5,209	31	4.08	25
21	737,637	103	911,215	93	4,979	30	3.90	24
22	725,924	101	896,297	91	4,948	30	3.88	24
23	692,084	96	854,613	87	4,691	28	3.66	22
24	665,157	93	825,392	84	4,438	26	3.47	21
25	629,033	88	781,492	80	4,388	26	3.44	21
26	573,842	80	711,374	73	4,113	25	3.23	20
27	536,899	75	666,023	68	4,117	25	3.24	20
28	499,201	70	618,853	63	3,904	23	3.07	19
29	472,165	66	580,850	59	3,694	22	2.91	18
30	430,601	60	525,846	54	3,532	21	2.79	17
令和 元 年	381,237	53	461,775	47	3,215	19	2.54	16
2	309,178	43	369,476	38	2,839	17	2.25	14
3	305,196	43	362,131	37	2,636	16	2.09	13
4	301,193	42	356,419	36	2,610	16	2.08	13

注１　算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月１日現在人口（補間補正を行っていないもの。国勢調査実施年は、国勢調査人口による。ただし、昭和23年及び24年は補間補正人口））による。
　２　交通事故件数及び負傷者数は、昭和34年以前は軽微な被害（８日未満の負傷、２万円以下の物的損害）事故を含まない。
　３　交通事故件数は、昭和41年以降は物損事故を含まない。
　４　交通事故件数、負傷者数、死者数及び人口は、昭和46年以前は沖縄県を含まない。
　５　指数は、昭和45年を100とした値である。
　６　令和４年の発生件数及び負傷者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。



２　月別交通事故死者数の推移



年＼月		１月	２月	３月	４月	５月	６月	上半期計	７月	８月	９月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成24年	(2012)	326	325	342	341	310	302	1,946	347	392	373	440	435	505	2,492	4,438
平成25年	(2013)	347	339	334	345	332	314	2,011	332	374	366	381	432	492	2,377	4,388
平成26年	(2014)	355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188	4,113
平成27年	(2015)	346	308	317	320	314	287	1,892	333	340	339	391	379	443	2,225	4,117
平成28年	(2016)	349	261	321	309	323	264	1,827	294	328	309	376	350	420	2,077	3,904
平成29年	(2017)	282	288	303	244	282	276	1,675	314	310	299	343	372	381	2,019	3,694
平成30年	(2018)	318	245	282	270	253	235	1,603	280	296	279	338	326	410	1,929	3,532
令和元年	(2019)	265	210	261	266	210	206	1,418	229	278	293	313	328	356	1,797	3,215
令和２年	(2020)	262	247	239	213	194	202	1,357	191	197	243	273	280	298	1,482	2,839
令和３年	(2021)	198	207	210	198	183	202	1,198	230	193	207	273	251	284	1,438	2,636
令和４年	(2022)	183	176	203	191	214	191	1,158	207	230	222	261	252	280	1,452	2,610
	増減数	−15	−31	−7	−7	31	−11	−40	−23	37	15	−12	1	−4	14	−26
	増減率	−7.6	−15.0	−3.3	−3.5	16.9	−5.4	−3.3	−10.0	19.2	7.2	−4.4	0.4	−1.4	1.0	−1.0
１日当たり死者数		5.9	6.3	6.5	6.4	6.9	6.4	6.4	6.7	7.4	7.4	8.4	8.4	9.0	7.9	7.2

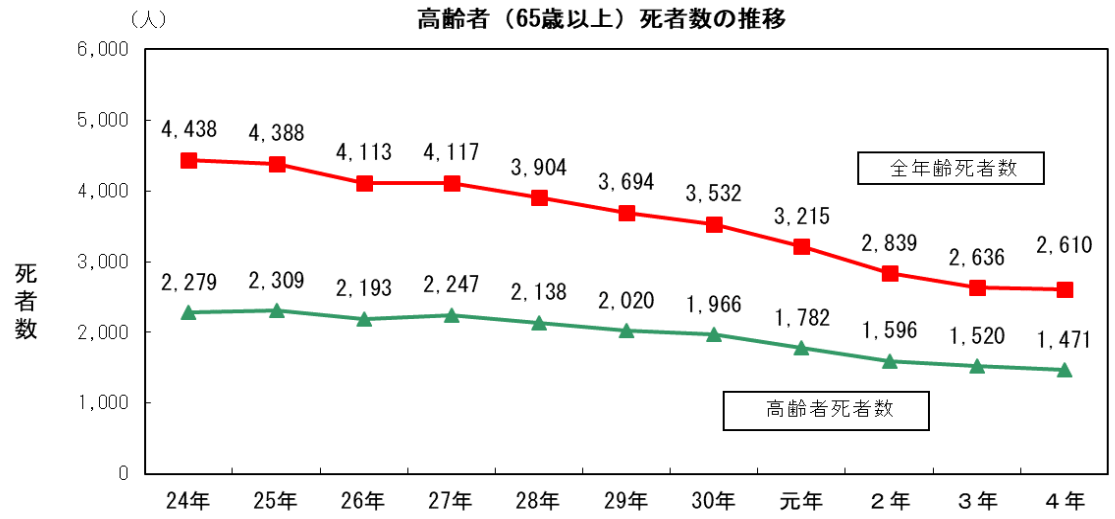
注　増減数（率）は、前年と比較した値である。

３　都道府県別交通事故死者数

都道府県		死者数			人口10万人当たり死者数		
		令和２年 (2020)	令和３年 (2021)	令和４年 (2022)	令和２年 (2020)	令和３年 (2021)	令和４年 (2022)
北海道		144	120	115	2.74	2.30	2.22
東北	青森	28	29	31	2.25	2.34	2.54
	岩手	46	35	37	3.75	2.89	3.09
	宮城	44	42	37	1.91	1.82	1.62
	秋田	37	28	33	3.83	2.92	3.49
	山形	30	24	26	2.78	2.25	2.46
	福島	57	49	47	3.09	2.67	2.59
東京		155	133	132	1.11	0.95	0.94
関東	茨城	84	80	91	2.94	2.79	3.19
	栃木	60	56	50	3.10	2.90	2.60
	群馬	45	50	47	2.32	2.58	2.44
	埼玉	121	118	104	1.65	1.61	1.42
	千葉	128	121	124	2.05	1.93	1.98
	神奈川	140	142	113	1.52	1.54	1.22
	新潟	64	47	61	2.88	2.14	2.80
東山	山梨	21	32	25	2.59	3.95	3.11
	長野	46	45	46	2.24	2.20	2.26
	静岡	108	89	83	2.96	2.45	2.30
中部	富山	26	29	34	2.49	2.80	3.32
	石川	40	26	22	3.51	2.30	1.96
	福井	41	26	27	5.34	3.39	3.55
	岐阜	43	61	75	2.16	3.08	3.82
	愛知	154	117	137	2.04	1.55	1.82
	三重	73	62	60	4.10	3.50	3.42
近畿	滋賀	49	37	38	3.47	2.62	2.69
	京都	49	51	45	1.90	1.98	1.76
	大阪	124	140	141	1.41	1.58	1.60
	兵庫	110	114	120	2.01	2.09	2.21
	奈良	25	39	29	1.88	2.94	2.21
	和歌山	18	31	24	1.95	3.36	2.63
中国	鳥取	17	19	14	3.06	3.43	2.55
	島根	18	10	16	2.67	1.49	2.41
	岡山	62	57	74	3.28	3.02	3.94
	広島	71	70	74	2.53	2.50	2.66
	山口	42	34	31	3.09	2.53	2.33
四国	徳島	20	32	23	2.75	4.45	3.23
	香川	59	37	35	6.17	3.89	3.72
	愛媛	48	50	44	3.58	3.75	3.33
	高知	34	25	26	4.87	3.62	3.80
九州	福岡	91	101	75	1.78	1.97	1.46
	佐賀	33	23	23	4.05	2.83	2.85
	長崎	34	27	28	2.56	2.06	2.16
	熊本	46	39	53	2.63	2.24	3.07
	大分	43	36	32	3.79	3.20	2.87
	宮崎	36	30	32	3.36	2.80	3.02
	鹿児島	53	47	42	3.31	2.96	2.66
	沖縄	22	26	34	1.51	1.77	2.32
全国		2,839	2,636	2,610	2.25	2.09	2.08

注　算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月１日現在人口（補間補正を行っていないもの。国勢調査実施年は国勢調査人口による。））による。

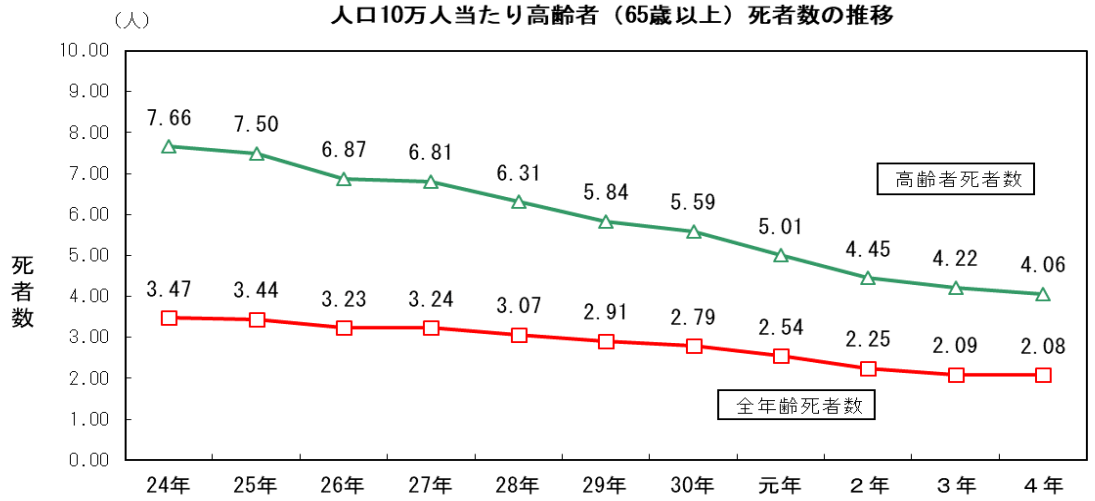
４　高齢者（65歳以上）死者数の推移



○　高齢者（65歳以上）死者数の推移

	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和２年 (2020)	令和３年 (2021)	令和４年 (2022)	増減数	増減率	指数
高齢者	2,279	2,309	2,193	2,247	2,138	2,020	1,966	1,782	1,596	1,520	1,471	−49	−3.2	65
全年齢	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532	3,215	2,839	2,636	2,610	−26	−1.0	59
高齢者構成率	51.4	52.6	53.3	54.6	54.8	54.7	55.7	55.4	56.2	57.7	56.4	—	—	—

注１　増減数（率）は、前年と比較した値である。
　２　指数は、平成24年を100としたものである。
　３　令和４年の高齢者死者数は、交通事故日報集計システムにより集計された速報値である（12月末現在）。



○　人口10万人当たり高齢者（65歳以上）死者数の推移

	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和２年 (2020)	令和３年 (2021)	令和４年 (2022)	増減数	増減率	指数
高齢者	7.66	7.50	6.87	6.81	6.31	5.84	5.59	5.01	4.45	4.22	4.06	−0.16	−3.7	53
全年齢	3.47	3.44	3.23	3.24	3.07	2.91	2.79	2.54	2.25	2.09	2.08	−0.01	−0.5	60

注１　増減数（率）は、前年と比較した値である。
　２　指数は、平成24年を100としたものである。

５　死者３人以上の交通事故の発生状況（令和４年12月27日現在）

No.	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	3月27日 午後11時36分頃	県道 （愛知）	死亡3	普通乗用1	当事車両が何らかの原因により道路左方法面に乗り上げ、大型張り出し案内標示柱に衝突して横転、炎上し、運転者及び同乗者2名が死亡した自損事故。
2	11月10日 午前3時25分頃	高速 （神奈川）	死亡4	大型貨物1 普通乗用1 準中型貨物1	交通事故のため停止中の車両に、後方から進行中の大型貨物自動車が追突し、4台関与の玉突き追突により後方3台の車両が炎上し、各車両から焼死体が発見されたもの。
3	11月29日 午前0時26分頃	国道 （千葉）	死亡3 重傷1	軽自動車1	当事車両が何らかの原因により緩やかな左カーブを曲がりきれずに横転し、電柱及びガードレールに衝突し、乗員3名が死亡した自損事故。

※　各都道府県警察から報告を受けたものを集約した。

６　国家公安委員会委員長のコメント

「令和４年中の交通事故死者数について」

昨年の交通事故による死者数は、２，６１０人で、前年比２６人、１．０%減少し、警察庁が保有する昭和２３年からの統計で、６年連続で最少を更新しました。

これは、政府をはじめ、関係機関・団体や国民一人一人が交通事故の防止に向け、積極的に取り組んできた結果だと考えております。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、こどもが犠牲となる痛ましい交通事故や、飲酒運転等の悪質・危険な運転による交通事故も後を絶ちません。

このような交通情勢を踏まえ、国家公安委員会といたしましては、第11次交通安全基本計画に基づき、各界各層と連携しながら、こどもや高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保、自転車の交通ルール遵守の徹底、飲酒運転等の悪質・危険な交通違反の取締り等の多角的な取組を効果的かつ強力に推進するよう、警察を指導してまいりたいと考えております。

安全で快適な交通社会を実現するため、国民の皆様にはより一層交通安全に留意していただくようお願いします。